

ぼくは3人の  
パパの  
夏

井上林子作 尾尾和考絵  
講談社 913/1

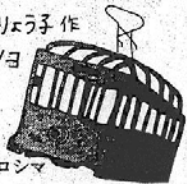
ぼく、亀谷めぐるは男なのに成績表  
でいちばんよくできるのは家庭科だ。  
それをはなせてアめんどくさりの  
お父さんが家事をサボりつづけるから  
だ。ぼくは「ラブじゃない! 11歳の男だ!  
お父さんがサボらなくなるまで、ぼくは  
ぜったい家にはまかえらない!



こうがくねん  
高学年  
向け

ぼくはその日、母と二人で  
広島市内の電車に乗っていた。  
どこかで何かが光り、強い強い光と  
ものすごい音がした。電車はいつの間  
にか止まっていた。爆風で飛ばされ  
た往時の残骸がいをよけるように逃げ  
る間も、ぼくは大勢のけが人や死  
んでいた人たちを見た。爆心の中心地を  
せきせき的に助けた著者の体験記。

ぼくは 木澤鐵志語り 講談社  
満員電車で 由井リョウ子作  
原爆を 913/3  
浴びた



11歳の少年が生きぬいたヒロシマ

## ヘンダワネのタネの物語

新藤悦子作  
丹地陽子絵 ポプラ社 913/1

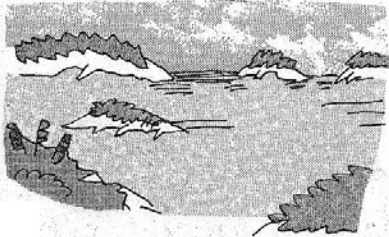
クラスの人気者のアリだが、実はひそかにイラン人ということにコンプレックスがあった。夏休みのある日、ひそかにイラン人と同じマンションに住むクラスメイトの直と、奥多摩のおばあさんの家で過ごすことになった。そこで「ほんとうはイランの事が好きなくせに」と直に言われたアリは...



## ボンアイランドの夏

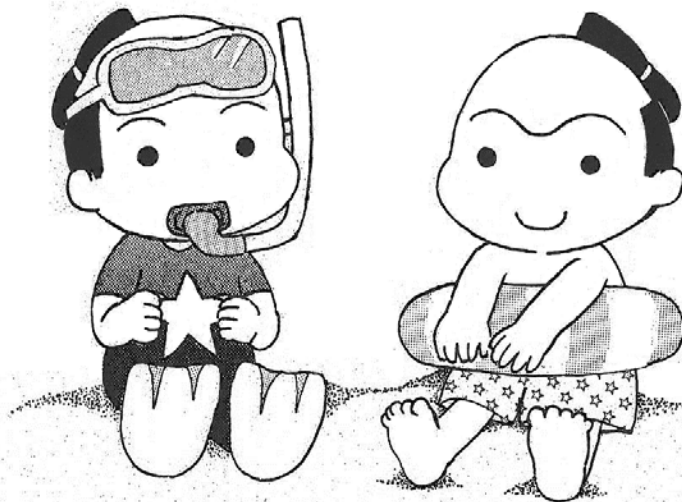
佐藤真澄作 ミヤザキコウハイ絵  
汐文社 913/4

「ボンアイランド」この名前は小笠原の英語名。啓太は小学生最後の夏休みにおはと共小笠原に旅行することになった。25時間かけてやってきた小笠原には区々米系の住民との出会いや美しい自然が待っていた...



# みどりのまど

2014年夏号



はむらしとしょかん  
554-2280

# オレンジラインの電車にのって

オレンジいろのラインがはいつた  
とうかいと「うほんせん、しんがいそく。  
うんてんしのアオキさんと、しんしょうの  
ハルオさんのしごととはどんなこと？  
どんしゃにはいろいろなおきやくさまが  
のってきます。どんなおきやくさまに  
であうのでしょうか？



天沼春樹作 913/A  
粕淵光輝雄原作  
山田和明絵  
交通新聞社

# かいさしがしゅつもの

ある家のおいれに  
いっすきのかいじゅうの  
ぬいぐるみがねむっていた。  
じぶんにはなにかたりない  
ものがあるきがしていた  
かいじゅうは、それをさがす  
ためにおいれから  
とびだした！



富安陽子作  
あおきまろ絵  
ひさかたチャイルド 913/T

## 低学年向け

# ピコのそうじとうばん

阿部夏丸作 村上康成絵  
講談社 913/A  
ドーナツいけにひとりぞくすピコ。  
いけのそうじ当番は、なかまごとに  
グループわけをするんだ。  
ピコのなかまっていないの？  
いせいや、いるんだよ。  
いったいどこに？ だれが…？



# あひるの手紙

朽木祥作 さめせゆき絵  
佼成出版 913/V  
ほんまち小学校にふしぎな手紙  
がとどきました。ふうとうには、  
「いちねんせいのみんなへ  
たなかけいちより」  
そして、てがみには「あひる」だけ。  
けんいちさんと、いちねんせいの  
みんなとのぶんつうの  
はじめりです。



# ハセイルカのハルカが泳いだ日

麻生かづこ作 依成出版 913/A  
ミヤハラヨウコ絵



新米食育委員としてがんばる隆子さん。  
ある日、水族館に漁師さんの  
あみにかかると弱っているハセイルカの  
子どもが運ばれてきました。  
隆子さんたちはハセイルカのハルカを  
助けたいと思い、力を合おせます。

## 中学年向け

# 夜明けの落語

人前で話すことが  
大の苦手な4年生の暁音。  
日直当番はスピーチをすることに  
なっているので落方こんでいたが、  
三島君が暁音の代わりに  
みんなの前で落語をやって  
くれた！三島君にさそわれて、  
暁音も落語にちょうせん  
することに！



みうらかみん作 913/M  
大島妙子絵 講談社

# 耳かき及説明書

「パソコンモビデオも、  
あつかい方をまちがえると、  
重かないだろ。あつかい方  
をまちがわなければ、  
かあちゃんなんてチョイのチョイだよ」  
哲せいよ。

「かあちゃん耳かき説明書」  
を、作り始めた！

いとうみく作  
佐藤真紀子絵  
童心社 913/I



# ロボットじゃない

2年前に引っこしてしまっ  
たおさななじみの岳ちゃんが  
また戻ってきた。  
岳ちゃんは足がはやくて  
自由研究ではクラスで一番  
だけ、いせなことをいせと  
いうことができない。  
そんなとき、事件がおきて  
なかよしだった  
草平と岳ちゃんは…。



三輪裕子作 913/M  
福田岩緒絵 佼成出版